

しよしかんてつ 初志貫徹

「博文約礼（はくぶんやくれい）」（論語）とは「ひろく学問して、礼をもって実行する。」の意味です。
※読書の秋、芸術の秋と実り多い秋です。幅広く学校の授業以外でも学び人には礼を尽くすと誰からも愛されますね。

学校教育目標

夢と志とむら、実現に向かって
自ら努力し続ける生徒の育成

八代市立第四中学校だより

第8号 令和5年11月6日

文責 校長 沖田 龍藏

学校行事(スケッチ大会、八代中体連駅伝大会、研究授業等)で成長する四中生！



10月5日(木)の八代中体連駅伝大会は男子3位、女子4位と健闘し、今年は男子が天草で開催される県大会に今月9日開会式、10日大会本番に出場します。夏の猛暑からの練習に耐え、たくましく成長した「チーム四中駅伝」の選手たちへの応援をよろしく願います。

秋晴れの下、11日(水)に3年生は八代城でスケッチ大会を行い、芸術の秋を楽しみました。



生徒のみならず、基礎学力の定着に向け、教職員も授業研究会をとおした授業改善に取り組んでいます。

10月18日(水)には、家庭科の冷水先生が道徳(「認め合い支え合う仲間づくり」をテーマに)、体育科の小野先生が「マット運動」

の研究授業を行い、25日(水)には、かがやき学級の鶴本先生が「自立活動学習：相手や場面に



応じた話し方」、きらめき学級の平野先生が「一次関数」、社会科の濱田先生は地理「中部地方」の内容を授業公開されました。さらに、今月1日(水)には、英語科の川口聡美先生が、防災教育の視点に立った「Earthquake Drill」の研究授業の中でICTを効果的に活用した授業づくりを公開し、八代市教育委員会指導主事の助言を受けながら、全職員で子供が「わかった、できた」を実感できる授業改善に日々取り組んでいるところです。上期の学校評価アンケートから本校での課題は、目標としている家庭学習90分以上の習慣化ができていない生徒は全体で55%(R4:62%)

と低下している点が挙げられます。学校は、学級・学年通信を通じた啓発や「家庭学習の手引き、理想の生活スケジュール」の具体的な取組を定期的に行っていますが、なかなか改善しない点です。

21日(火)には、四中校区三点固定部会が八千把コミセン(19時~)で「子供の過度のメディア使用が心身の発達に及ぼす影響」をテーマに教育講演が企画(オンライン参加も可)されています。自分の夢(目標)実現に向けた意識改革にはメディアコントロールを行い、授業と家庭学習の連動が必要です。今後、後期中間テスト(11月15日~17日)や1・2年生は、12月1日・4日「県学力・市学力学習状況調査」が実施されます。引き続き家庭と連携し、義務教育における基礎学力の定着に力を入れていきたいと思っております。上期の成果としては、「学校行事は満足し楽しかった」、「行事や部活動をとおして、頑張る心やあきらめない心を磨いている」、「他の人を思いやり、互いに高め合う言動ができていない」、「いじめや差別を許さない覚悟を持って生活している」と回答した生徒が9割を超えていた点は喜ばしいことです。何はともあれ、今月8日(水)の文化祭・合唱コンクールの歌声やステージ・展示部門の発表を保護者と一緒に楽しみ、感動を味わいた

「八代市立第四中学校 HP」で検索を！